

自己評価結果公表シート

作成 福島めばえ幼稚園
めばえ幼稚園

1. 本園の教育目標

豊かな人格形成を目標におき、生涯にわたる人間性の基礎を養う。愛、自立、健康、創造を4つの柱とし、入園から卒園までの園生活を通して、社会性を養い自主性を育てる。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己点検・自己評価することにより、教師自身の振り返りと自園を客観的に見直す目を養い、教師の資質の向上、保育の向上を目標に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況
幼稚園の教育方針に基づき、教育課程を作成している。	近年の子どもの姿、社会環境の変化を踏まえて全教職員、幼児の発達や実態に合わせてよりよい育ちを促し保育を進めていけるよう立案、指導している。
障がいのある幼児について理解を深め、特別支援教育を推進する。	幼児一人ひとりの教育ニーズを把握し、適切な指導が行えるよう職員間で共通理解を図り、必要に応じて個別の関わりを行っている。特別支援教育を推進することは、障がいがある子どもだけでなく、そうでない幼児への指導の充実にも値するものとの考えをもとにクラス作りを行っている。
保育者(保育)の質の向上のために、園内研修を充実させる。	子どもの実態からから見ても必要事項として考え、人との関わり、自然との関わり、外遊びの魅力をテーマとし、園内研修を行っている。自園の特色である恩物教育や感性を豊かにすること、運動能力と子どもの育ちなど子どもの発達を多角的視点で研究研修する。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や意見に適切な対応をする。保護者との連携を図り、幼児のよりよい育ちへとつなげる。	日頃から、幼児の様子と年齢なりの発達段階を知らせ、園と家庭と一体となって幼児の成長を促している。要望や意見に関しては、真摯に受け止め、参観日や園だよりを通じて園の考え方を示しながら、丁寧に対応している。報告は掲示板や手紙を通じて公表している。個人の相談業務の充実を図っている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保育者

一人ひとりが適切に自己点検、自己評価し、自分の保育の課題を見つけることができた。教育方針の理解や具体的な保育内容や援助を考え、実践できるよう努めていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
家庭との連携	保護者と保育者、保護者同士、幼稚園と地域のつながりを目的とし、できるだけ実際の参加を促しそれぞれの機能を高め信頼のもと保育業務が進むように行なうものとする。平成 29 年度は地域とのつながりを重視したい。
特別支援教育	診断されている子ども、クラスの中で支援を必要とする子どもなどの特性を園全体でケースワークして共通理解を図る。その際、園の中で誰がどのような役割をするのか、時期や発達に合わせて対応してきた。個別支援計画の充実を図り、集団と個人の育ちを促したい。
幼児教育の意義についての発信	地域の方々との交流の中から園の教育方針や内容を理解していただいたり、ホームページの更新ページの充実を図り、最新情報を公開している。
その他	平成 30 年度の教育要領改訂にむけて、新しい教育の仕方(アクティブラーニング)や5歳児までに育ててほしい 10 の項目を熟知し、めばえの教育理念や特色に合わせて、保育計画をしていく。

6. 学校関係者の評価

平成29年3月29日、学校関係者評価委員会を実施し、特に指摘事項はなく、妥当であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。